

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育相談支援 Social support of childcare		2年	後期	月曜日・2時限、3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (保育士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
相談支援				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
障害児指導法演習Ⅱ・障害児理解演習Ⅱ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹利夫	講義棟2階	月・火・水・木の8時～18時		授業中に指示します
授業の概要				
保育相談支援の概要及び方法を理解し、保護者からの様々な保育相談への対応を考える。				
授業の到達目標				
①子どもを見る確かな視点を持つことができるようにする。 ②子育て上の悩みを理解できるようにする。 ③その悩みへの対応を保護者と共に考えることができるようにする。				
授業の方法				
事例集やVTRを使って具体的に支援が必要な事例を紹介し、その解決方法を探り、毎回小レポートにまとめる。				
学習の成果				
①子どもを見る確かな視点を持つことができる。 ②子育て上の様々な悩みを理解することができる。 ③子育て上の悩みへの対応を保護者と共に考えることができる。 ④カウンセリングの技法を学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。(授業の内容・進め方・評価の方法)			
第2回目	子どもの見方と接し方。			
第3回目	子育て上の様々な悩み。			
第4回目	保育相談支援の概要と方法			
第5回目	子どもがげんかをした場合の保育者と保護者への対応。			
第6回目	育児不安の保護者への対応。			

第7回目	カウンセリングマインド。		
第8回目	ことばの遅れがある子に対する対応。		
第9回目	障害の疑いがある子どもと保育者の対応。		
第10回目	虐待を疑われるケースと保育者の対応。		
第11回目	ペアレントトレーニング。		
第12回目	実習で困ったケース。		
第13回目	就学相談。		
第14回目	保育所における保育相談支援の実際。		
第15回目	まとめ。		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		50%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート		50%	毎回授業の課題に沿って小レポートを提出する。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
適宜資料を配布。			
履修上の心得・ルール			
私語禁止。飲食禁止。			